

# 「米韓同盟の解体」が北朝鮮の狙い

北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)朝鮮労働委員長は、米朝首脳会談を取り付けたうえで、中国・北京に乗り込み、習近平国家主席から大歓迎を受けた。朝鮮半島的情勢は劇的変化の時期を迎えている。

「金正恩氏は、極めて合理的で、戦略的思考ができる指導者だ」



こう評価するの

は、自民党総裁外交特別補佐の河井克行衆院議員―写真―だ。どう戦略的なのか。

「2月の韓国・平昌(ピョンチャン)冬季五輪から、正恩氏の外交工作が始まった。韓国の文在寅(ムン・ジェイン)大統領はもともと親北だが、五輪主催者として弱みがあっ

た。北朝鮮がミサイルを撃てば、五輪の各国選手は帰ってしまふ。五輪がメチャメチャになる。そこを突いて、文氏を一層、引きつけることに成功した」

次に、ドナルド

・トランプ米大統領

領への工作。

「文氏を通じ、

韓国大統領特使を

ホワイトハウスに乗り込ませ、トラ

ンプ氏を陥落させた。韓国からの特

使の実体は、正恩氏の特使だった」

次に、習氏に取りかかる。

「北朝鮮と韓国、米国の3カ国連携の枠組みをつくり、そのうえで、特別列車で北京に乗り込んだ。この段取りが少しでも狂えば、これまでの中朝の険悪な関係が影響し、中国

## 鈴木棟一の風雲永田町

5808

朝したが、正恩氏は会わなかった。対中交渉力を高めたい。訪中した

の対応は冷たくなるはずだった。しかし、3カ国連携ができていた。習氏としても、一定の敬意を払わざるを得なかった」

習氏が「新型大国関係」と称して米国に接近したのを、正恩氏は「裏切り者」呼ばわりして攻撃した。昨年、中国共産党大会の結果を報告す

る習氏の特使が訪

河井氏が続けた。

「(中国国営の)新華社通信によると、正恩氏は『朝鮮半島の非核化実現のために力を尽くす』と言った。その真意は、米軍が提供している『核の傘』を無力化したい。米領グアムからの戦略爆撃機を排除したい。米韓同盟を解体したい。これは、中朝露3カ国の共通の狙いだ。習氏と正恩氏は会談で、この点を確認しただろう」

一方、河井氏は、中朝首脳会談について「米朝首脳会談への保険」との見方を示した。

「もし、米朝首脳会談がうまくいかなかったり、トランプ氏を怒らせ

たりしたら、軍事行動に出る恐れがある。その場合に備えた、『北朝鮮の背後には、中国がいる』というデモンストレーションだ。正恩氏は近く、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領にも会うだろう。中露2大国をバックに、米朝との交渉に当たろうとしている」

## 河井克行氏「金正恩氏は戦略家」

(政治評論家)